

令和5年度 第1回 富津市文化財審議会 会議録

1 会議の名称	令和5年度 第1回 富津市文化財審議会
2 開催日時	令和5年7月31日(月) 13時30分～15時45分
3 開催場所	富津市役所 5階 504会議室
4 審議等事項	議題 (1) 令和4年度文化財審議会事業報告について (2) 令和5年度文化財審議会事業計画(案)について (3) 第11次富津市文化財指定候補物件について 報告 (1) 市指定文化財「内藤家長の墓」修復事業について (2) 鋸山日本遺産「候補地域」の事業について
5 出席者名	委員 杉山林繼、川名 興、鈴木順一、高梨 正、高橋 克 筑紫敏夫、濱名徳順、笹生 衛、小澤 洋  事務局 岡根 茂、平野 勉、樋口峰昭、桐村修司、金木佑天
6 公開又は非公開の別	公開 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一部非公開</span> ・ 非公開
7 非公開の理由	富津市情報公開条例第23条第2号による
8 傍聴人の人数	1人(定員 5人)
9 所管課	教育部 生涯学習課 文化係 電話 0439-80-1342
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

発言者	発言内容
樋口生涯学習 課長	<p>皆様こんにちは。</p> <p>委員の皆様方におかれましては、御多用のところ、本会議に御出席を賜り誠にありがとうございます。</p> <p>本日の会議の進行を務めさせていただきます、生涯学習課長の樋口でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>会議に先立ちまして、桐村課長補佐より資料の確認をさせていただきます。</p>
桐村課長補佐 (事)文化係長	<p>それでは、会議資料の確認をさせていただきます。</p> <p>○会議資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議次第</li> <li>・委員名簿</li> <li>・議題（１）～（３）に関する資料冊子</li> <li>・報告（１）（２）に関する資料冊子</li> </ul> <p>○参考資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『令和４年度 天然記念物「高岩山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業報告書』</li> <li>・『令和４年度 富津市内遺跡発掘調査報告書』</li> </ul> <p>以上です。</p>
樋口生涯学習 課長	<p>それでは、ただいまから、令和５年度 第１回 富津市文化財審議会を開催いたします。</p> <p>はじめに、本日の出席状況を報告させていただきます。出席者９名、全員出席です。従いまして富津市文化財の保護に関する条例第 27 条第 2 項の規定により、過半数の委員の出席を得ており、本会議は成立します。</p>

<p>岡根教育長</p>	<p>続きまして、岡根教育長より御挨拶申し上げます。</p> <p>改めまして御挨拶申し上げます。</p> <p>今年は特に異常な暑さに見舞われており、記憶にないような暑さが続いています。地球温暖化が原因の一つかもしれません。委員の皆様におかれましては、お身体をご自愛いただきまして、夏を乗り切っていただければと思います。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症につきましても、身近なところでの感染者は非常に多いように感じます。病院でも三分の二近くは陽性の判断をされているようで、かなり多くの方々が感染しているようですが、重症化の数は少ないように思われます。報道でも言われていますが、コロナがなくなってしまったわけではありませんので、注意していただきたいと思います。</p> <p>本日の議題でございますが、令和4年度文化財審議会事業報告、令和5年度文化財審議会事業計画についてのご意見を頂戴したいと思います。富津市の文化財がより多くの市民の皆様理解され、市長からも「富津市に誇りと愛着をもって」とよく言われております。ふるさとに誇りと愛着をもつ一つに文化財がなくなっていくことが素晴らしいことであると思っています。忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます、御挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。</p>
<p>樋口生涯学習 課長</p>	<p>続きまして、杉山会長よりご挨拶を頂戴したいと思います。</p>
<p>杉山会長</p>	<p>私も年を重ねてまいりまして、暑さが堪える状況であります。先ほど教育長よりお話がありましたように、地球温暖化ということ、氷河期や間氷期といった言葉もありますが、地球温暖化はどこまで進むのかと思っています。日本だけではなく、ヨーロッパでも山火事が消えなかったりという話があります。日本の四季がなくなると困るな、と思いますが、私としては、今日の風はもう秋風という気がしています。皆様どうぞよろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。</p>
<p>樋口生涯学習</p>	<p>ありがとうございました。</p>

課長	これより、議事の進行を杉山会長にお願いいたします。 それでは議長をよろしくお願いいたします。
杉山会長	会議の進行に先立ち、議事録署名人を指名いたします。高梨委員、筑紫委員にお願いしたいと思いますがよろしいでしょうか。
高梨・筑紫委員	よろしく申し上げます。
杉山会長	よろしくお願いいたします。それでは議題に入らせていただきます。 議題（１）「令和４年度文化財審議会事業報告について」 事務局の説明をお願いいたします。
桐村課長補佐	資料冊子１頁を御覧ください。 ○「令和４年度文化財審議会事業報告」  令和４年度は文化財審議会を２回開催いたしました。  第１回審議会を令和４年５月３０日（月）、富津市役所５階５０２・５０３会議室にて開催しました。議題は３件、報告３件です。 議題 （１）会長・副会長の選出について （２）令和３年度文化財審議会事業報告について （３）令和４年度文化財審議会事業計画（案）について 報告 （１）県指定文化財「三柱神社本殿」再建事業について （２）市指定文化財「木造薬師如来坐像」修理完了届の受理について  令和２年１２月２４日に新指定になった仏像について、薬師如来の御開帳に合わせて寺の全額負担により修理されました。施工者は鎌倉市の仏師、大森幸夫氏です。 （３）鋸山日本遺産「候補地域」の事業について  第２回審議会は令和５年３月１０日（金）、指定候補物件について視察

を行いました。(非公開)

続きまして、令和4年度文化財保護事業実施状況報告について、説明いたします。

○「令和4年度文化財保護事業実施状況報告」

●天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業  
実施額 2,460,000円  
(君津市・富津市の共同事業、総額 4,473,000円)

被害防止、生態調査と個体数管理、生息環境調査を中心に事業を実施し、事業委託先は天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業調査団です。管理委員会については、2回開催いたしました。

●市内遺跡発掘調査事業(国庫補助事業)

実施額 2,249,306円

(うち、249,306円は補助対象外、試掘用重機借上げ料及び事務機器借上げ料)

国・県からの補助金を受けて、市内で計画される営利を目的としない事業に対して実施しています。

・個人住宅建設(②・③)及び小規模宅地造成(①)に伴う確認調査(発掘調査)

遺跡名	調査面積
① 向原遺跡	63 m <sup>2</sup> /502.45 m <sup>2</sup>
② 富津陣屋跡	20 m <sup>2</sup> /372.16 m <sup>2</sup>
③ 亀塚遺跡	56 m <sup>2</sup> /691 m <sup>2</sup>
計3件	140 m <sup>2</sup> /1,565.61 m <sup>2</sup>

(整理作業)

令和2・3年度に調査した5遺跡7地点の整理作業

・令和2年度調査分(造海城跡、上野遺跡4)

・令和3年度調査分（亀塚遺跡1・2、佐貫城跡1・2、川島遺跡5）  
5遺跡7地点の調査成果について、『令和4年度富津市内遺跡発掘調査  
報告書』として刊行しています。

●公共工事発掘調査事業（市教委直営）

実施額 1,111,365円

- ・市道浅間山線整備事業に伴う確認調査  
（発掘調査）

遺跡名	調査面積
加藤遺跡	290/3,063 m <sup>2</sup>

●民間開発発掘調査事業

- ・学校給食共同調理場整備事業に伴う民間発掘調査  
（発掘調査）

遺跡名	調査面積
打越遺跡	3,500 m <sup>2</sup> （本調査）

学校教育課予算で民間調査機関が実施した調査となります。富津市役  
所庁舎隣接地で調査を実施いたしました。整理作業及び報告書刊行は、  
令和6年3月末を予定しております。

●文化財周知板設置事業

実施額 88,000円

老朽化に伴い、既存の文化財説明板の付け替えを行いました。

- 1 釈迦涅槃図（松翁院）
- 2 木造薬師如来立像（東明寺）

●指定文化財管理事業（報償費）

実施額 117,000円

県指定物件5件、市指定物件15件、計20件に対する維持管理費を報  
償費として支出しております。屋外で草刈等の管理が必要な文化財、吾  
妻神社の馬だし祭りや鶴岡の羯鼓舞、三柱神社の木遣り獅子舞といった  
無形民俗文化財にも支出しております。

●指定文化財保存整備事業（補助金）

実施額 1,500,000 円

- ・県指定文化財 三柱神社本殿の修復工事に伴う市補助金

総事業費 10,098,000 円

（内訳） 5,000,000 円（県補助金）

1,000,000 円（市補助金）

4,142,000 円（所有者負担金）

※JR 助成金 3,000,000 円

平成 28 年度に解体作業に入り、平成 30 年度から令和 7 年度の 8 か年にかけて行う再建事業の 5 年目となります。県と市の補助金のほか、昨年度は公益財団法人東日本鉄道文化財団から、300 万円の助成金を頂いています。

- ・市指定文化財 内藤家長の墓の改修工事に伴う市補助金

総事業費 1,003,200 円

（内訳） 500,000 円（市補助金）

503,200 円（所有者負担金）

昨年度の文化財審議会でも、修理方法についてご審議頂いた案件です。修理内容の詳細は後ほどご報告します。

●文化財・文化財施設環境整備事業

実施額 737,000 円

市が所有する古墳等の草刈、樹木伐採に関連して支出しています。弁天山古墳墳丘、上野塚古墳墳丘、内裏塚古墳前方部周溝部、笹塚 1・2 号墳墳丘、亀塚古墳墳丘草刈、富津陣屋跡の草刈り及び樹木伐採を実施しています。

●文化財収蔵物等運搬業務委託

実施額 2,200,781 円

旧環南小学校の利活用事業者の決定に伴い、旧環南小学校体育館文化財収蔵庫の解体が決定いたしました。それにより収蔵物移管のための運

	<p>搬業務が必要となりました。移管先は旧環南小学校体育館から旧佐貫中学校校舎の各教室となります。</p> <p>●青堀駅東口史跡情報案内所「古墳の里ふれあい館」清掃委託 実施額 474,700 円</p> <p>一日おきに実施するトイレ清掃委託料となります。</p> <p>●鋸山日本遺産候補地域活用推進協議会事業 (富津市・鋸南町共同事業) 負担金 22,547,000 円</p> <p>鋸山日本遺産候補地域活用推進協議会が実施いたします 12 事業に対する富津市負担金となります。富津市、鋸南町両市町で進める事業ですので、鋸南町負担金として 6,303,000 円、総事業費は 28,850,000 円となります。事業完了後に 87%にあたる 19,660,766 円が国庫補助金として採択されました。国から補助金が交付された協議会から両市町へ当初負担分に応じた金額が返還されています。実施内容は後ほどご報告します。</p> <p>続きまして、予算を伴わない普及活動について報告します。</p> <p>○文化財講座（普及活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新任教員を対象とした富津市内の文化財講習会 45 名</li> <li>・小学校を対象にした出前講座 令和 4 年度依頼なし</li> <li>・一般を対象にした出前講座 20 名</li> </ul> <p>以上、報告いたします。</p>
杉山会長	事務局の説明が終わりました。
	一部については、この後の報告として説明されるとのことです。
	委員の先生方、質問もしくは御意見ございますか。
高梨委員	後ほど報告をいただけるとのことですが、内藤家長の墓について気が
	ついた点を先に述べさせていただきます。



	<p>実際現地に行きますと、今回報告された写真でみるより一段高い位置にお墓があります。立派に修繕していただいて、見学者案内の際にも胸を張って説明ができます。ありがとうございます。気が付いた点としまして、修繕前は基壇内は土になっていましたが、修繕後は大谷石が敷かれていて機械掘りの新しいものかと思えます。外柵の支柱については、手掘りのノミ痕が見えます。できれば外柵の中も手掘りの石を使用されたらよかったですのではと思いました。</p>
杉山会長	<p>事務局は後の報告で、こちらの意見も含めて説明いただければと思います。</p> <p>他に何かご質問等ございますか。</p>
小澤委員	<p>はい。文化財施設環境整備事業について、千種新田収蔵庫が減った分として富津陣屋跡の草刈りを実施していると思えます。予算的な部分はあると思いますが、市の所有ということで古塚古墳の入口部分だけでも状態が悪いので可能であれば検討いただければと思います。</p>
杉山会長	<p>事務局お願いします。</p>
桐村課長補佐	<p>はい。小澤委員の仰る通りではございますが、現状の予算でまかないきれない部分については、市の職員が対応しています。常時きれいな状態を保っているわけではありませんが、ご理解いただければと思います。</p>
小澤委員	<p>全体を実施するわけではなく、通り道だけでも実施してもらえればと思います。</p>
杉山会長	<p>他にございますか。</p>
笹生委員	<p>はい。埋蔵関係ですが、加藤遺跡について確認調査は私も現地を見させていただきましたが、本調査についてはどうなるのでしょうか。</p>
桐村課長補佐	<p>市道整備事業計画の半分しか確認調査が実施できておりません。建設部局の準備が整いましたら、残りの確認調査を実施する予定です。昨年度の確認調査の半分以上が本調査対象範囲となりますので、来年度以降、調整し本調査に移行する予定です。</p>

<p>笹生委員</p>	<p>わかりました。打越遺跡についてですが、かなり面積の広い本調査となっていて、市役所を建てる際の集落の続きが検出されているなど。計画では報告書の刊行までとなっていますが、予定通りの進捗でしょうか。</p>
<p>桐村課長補佐</p>	<p>はい。委託先である勾玉工房と学校教育課とも協議をし、整理作業も予定通り進んでいます。</p>
<p>笹生委員</p>	<p>これだけ集落が出ていてどんどん壊れてしまうので、部分的にでも「打越遺跡」として残せると良いな、と思っています。南関東の中でも重要な遺跡ですし、関西や東海地方の土器がまとまって出ています。今後はそういったものを指定の問題も含めて、報告書が出た段階でも良いので、富津市の中では一番密度の濃い弥生～古墳時代の遺跡ではないかと思えます。普通の集落ではないので、その辺も市として単に報告書を出して終わりではなく、今後を考えていただければ良いなど。畿内系の遺物も市として保存するなり、特別な対応を検討していただければと思います。</p>
<p>小澤委員</p>	<p>実際に見ると住居の確認面も相当低いですね。こんなに低地なのかと思えます。</p>
<p>笹生委員</p>	<p>そうですね。地形がかなり変わっているので。上野塚や富津の岬の地形はかなり短期間で変動しています。単に文化財だけでなく都市計画、防災の問題にもかかわってくるデータだと思います。市も有効活用して考えていただければと思います。以上です。</p>
<p>杉山会長</p>	<p>打越遺跡その他のことについても、ご意見をいただきましたので事務局で検討いただくということでよろしくお願ひします。</p> <p>他に質問はないようなので、議題（１）については承認いただいたということで、よろしくお願ひします。</p> <p>続きまして、議題（２）「令和５年度文化財審議会事業計画（案）」について、事務局の説明をお願いします。</p>
<p>桐村課長補佐</p>	<p>令和５年度文化財審議会事業計画（案）について説明させていただきます。</p>

令和5年度文化財審議会事業計画（案）

第1回：令和5年7月31日（月）、富津市役所5階 504会議室  
本日実施しています。3件の議題と2件の報告を扱います。

議題

- （1）令和4年度文化財審議会事業報告について
- （2）令和5年度文化財審議会事業計画（案）について
- （3）第11次富津市文化財指定候補物件について

報告

- （1）市指定文化財「内藤家長の墓」修復事業について
- （2）鋸山日本遺産「候補地域」の事業について

第2回は、令和6年2月頃を予定しております。この後の議題でとりあげる（3）第11次富津市文化財指定候補物件について取り扱う予定です。

続きまして、令和5年度文化財保護事業について説明させていただきます。

○「令和5年度文化財保護事業」

令和5年度文化財保護事業

●天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業

予算額 2,460,000円

事業内容：（1）被害防止事業

（2）生態調査と個体数管理

（3）環境改変と生息環境調査

例年通り、上記事業を大きな柱として実施します。

●市内遺跡発掘調査事業（国庫補助事業）

予算額 2,271,000円

実施内容：個人住宅建設等に伴う確認調査

150㎡／1,500㎡

営利を目的としない開発事業に対して実施いたします。今年度は6月

19日から21日にかけて小規模宅地造成に伴う亀塚遺跡の確認調査を1件実施しております。

●民間開発発掘調査事業（市教育委員会受託事業）

予算額 4,327,000円

事業内容：各種民間開発事業に伴う確認・本調査  
250㎡／2,500㎡（確認）  
1,000㎡（本調査）

営利目的となる開発事業に対して実施いたします。全額が原因者である事業者負担となります。

●文化財周知板設置事業

予算額 88,000円

事業内容：新指定文化財への新設及び既設周知板の老朽化に伴う付け替え 2か所

●指定文化財管理事業（報償費）

予算額 119,000円

事業内容：県指定物件5件、市指定物件15件、計20件に対する維持管理費一部助成

●指定文化財保存整備事業（補助金）

予算額 1,000,000円

事業内容：県指定文化財三柱神社本殿の再建工事費の一部補助

総事業費 10,392,000円

（内訳） 5,100,000円（県補助金）

1,000,000円（市補助金）

4,292,000円（所有者負担金）

●文化財・文化財施設環境整備事業

予算額 770,000円

事業内容：内裏塚古墳周溝部・弁天山古墳・上野塚古墳・亀塚古墳・笹塚1・2号墳・古塚古墳の草刈、伐採等

●青堀駅東口史跡情報案内所（古墳の里ふれあい館）清掃委託  
予算額 550,000 円

実施内容：古墳の里ふれあい館のトイレ清掃

●鋸山日本遺産候補地域活用推進協議会事業  
（富津市・鋸南町共同事業）

負担金 19,425,000 円

鋸山日本遺産候補地域活用推進協議会で実施いたします8事業の負担金となります。

7頁を御覧ください。

○『令和5年度文化財保護関係予算』について説明いたします。

文化財保護費総額	31,620,000 円
文化財審議会関係費	150,000 円
文化財保護関係費	22,412,000 円
市内遺跡発掘調査事業	2,271,000 円
民間開発発掘調査事業	4,327,000 円
高宕山のサル被害防止事業	2,460,000 円

以上です。

杉山会長

委員の皆様、ご意見・ご質問等ございますか。

小澤委員

文化財周知板についてですが、以前より古塚古墳の周知板が破損してしまっているので候補にいられておいてください。

杉山会長

私から言うのも変ですが、市の土地が増えていきますし、管理費の問題や看板も一斉に作ったものについては痛みが出てきているのかなと思います。なかなか経費がかかると思います。

小澤委員

昨年度に東明寺を替えたのは劣化でしょうか。文字が読めなくなっていたということですか。

桐村課長補佐	はい。そのとおりです。
杉山会長	委員の先生方他にございますか。
笹生委員	はい。小澤委員からも話があった古塚古墳も含めてですが、富津の古墳群の長期的な保存計画はどのようになっているのでしょうか。私のほうも協力したいと思いますので、スケジュールをある程度決めて保存管理計画など、ご検討いただければと思います。
杉山会長	笹生委員からの話ですが、指定になると県や国の補助金関係はどうなりますか。管理費も出るのでしょうか。
桐村課長補佐	国指定につきましては、地方交付税（特別交付税）という形で毎年市に入ってきます。
杉山会長	それは教育委員会に入るのですか。
桐村課長補佐	市の一般財源に組み込まれます。直接、教育委員会が文化財保護費として使うことはできません。
杉山会長	富津古墳群全体をどうするか、保存活用計画を立てていかないといけないですね。
笹生委員	長期的になるので、絵に描いた餅でも構わないので、こういったイメージを持っていると市の中で共有しておくの良いのかなと思います。予算や人員の問題もありますので、動き出すのは難しいかと思いますが、こういう形で整備したいというイメージ、市役所だけではなく市全体のイメージとしてコンセンサスをとるようにすれば、予算措置もしやすくなるかと思います。こうすれば人が来ますよ、というようなイメージを植え付けていくことも大事だと思います。私たちも協力できますので、そういう形で市役所の中で定着させていくことが大切です。関東でも、東日本でも有数の古墳、世界遺産の百舌鳥古墳群と同じようなスケール感の古墳があるんだよ、というような話をしていただだけでも違うと思います。調整なり、戦略を練っていただければと思います。

小澤委員	審議会でも何回か取り上げていますが、内裏塚古墳群については一項目を立てて協議していかないといけないですね。
笹生委員	人員的にも動かしていくのが難しいという状況はよくわかっていますので、それを動かしやすい状況を作る、といった戦略をとるべきなのかなと思っています。
小澤委員	より現実的な方法を考えていったほうがよいと思います。
笹生委員	従来論に縛られず、より柔軟にやっていった方がよいですね。
杉山会長	<p>笹生委員、小澤委員の仰るように、近年の文化財は活用する、ということが出てきますので、それも含めて古墳群の活用計画を作っていくしかないと思います。教育委員会の中でも、どうすべきか案を作っていたいて、実際には審議会の中でやらなければいけない議題ですから、10年くらいの長いスパンで活用計画を見ていただければと思います。それによって国指定については国からの補助金等考えていかなければならないと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>他にご意見ございますか。</p>
高橋委員	<p>はい。民俗のことでお願いがございます。コロナ明けということで民俗行事が再開されていると思います。そうではなく、それっきり辞めてしまったということもあると思います。その現状を調査するというのをやっていただけると良いかなと。元に戻ればよいですが、やり手がないので辞めてしまおう、ということもあると聞いています。簡単なやり取りでも構いません。続けているところは、コロナ禍でもやっていることはやっていました。非公開にして実施して、伝承はしている。今回は公開しますよ、というところが多いです。コロナ禍にどうしてしましたか、というようなことと公開までのプロセスを明らかにしておく今後何かあった時のために、こうすれば伝承していけるということが見えてくると思います。問い合わせに際しても、こうしてましたよ、と回答ができるので今がチャンスだと思います。お祭りが出来ている所と出来ていないところを調べてもらえればと思います。</p>
小澤委員	それはいつ再開したか、何年休んだかという形ででしょうか。

高橋委員	そうですね。コロナ禍で休んでいてその間どうしたか、というところも。休んでいたのが伝わっていないというのものもあるようなので。
杉山会長	私も感じていますが、屋台や獅子舞も、指定になっているものはわかりますが、未指定のものも含めて、地域の過疎化のために無くなっていくのか、コロナのために無くなっていくのか、楽譜や何かがしっかりとあって伝承されるものも無いわけではありませんが、体で覚えて伝えていくものもかなりあります。高橋委員の意見はそういうものもできるだけ調査、徹底調査までは出来ないかもしれませんが、目配りして見ていくようにしないと、ということだと思います。事務局からはどうでしょうか。
小澤委員	指定になっている羯鼓舞や木遣り獅子舞は再開されていますか。
樋口生涯学習課長	指定になっている羯鼓舞、木遣り獅子舞、馬だし祭りや、地域の祭礼について、今年の動きについて、まとめられる範囲になってしまうかもしれませんが、情報収集したいと思います。祭礼のみ実施したというところもあると思いますので、可能な範囲で調査してまいります。
小澤委員	特に木遣り獅子舞は指定になってからも実施回数が少ないので、三柱神社の本殿再建とも絡めて、実施したのか気になっています。
金木主任主事	(北町の) 木遣り獅子舞については今年度は実施していません。
小澤委員	わかりました。今後どうやって引き継いでやっていくのかも情報があればと思います。
杉山会長	実は、指定になっていない方の南町がやったのですが、年配者が見ていて少し違ってきていると言っていました。昔のやり方と変わってきていると。北町の方が指定になっていますが、この点は過疎化の問題も含んでいますので、気にしていただくようお願いします。 他にございますか。
高梨委員	はい。今の件についてですが、指定されているものの中でも高齢化が進んでいる、人口の減少がかかわっていると思います。担当部署だけで



	<p>というのは難しい課題だと思います。市全体での課題になる気がしています。</p>
杉山会長	<p>議題（２）については、委員の皆様了承いただけたということによろしいでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
杉山会長	<p>議題（３）「第 11 次富津市指定文化財候補物件について」につきましては、富津市情報公開条例第 23 条第 2 号により個人情報を取り扱うため非公開としてよろしいでしょうか。委員の皆様の挙手をお願いします。</p>
委員	<p>（挙手全員）</p>
杉山会長	<p>委員の先生方の許可を得ましたので、非公開にいたします。</p> <p>（富津市情報公開条例第 23 条第 2 号により非公開）</p>
杉山会長	<p>それでは、報告（１）市指定文化財「内藤家長の墓」修復事業についてに入ります。事務局説明をお願いします。</p>
桐村課長補佐	<p>はい。それでは 9 頁をご覧ください。市指定文化財「内藤家長の墓」修復事業についてご説明します。</p> <p>前回の文化財審議会でも取り上げ、現地でこの状態のまま修復するのか、また 5 m ほど横にずらして改築する方が良いのか、ということでご審議いただいた件です。審議会としては、なるべく動かさずに、動かしたとしても墓なのか供養塔なのか、礎石を動かした後にトレンチを入れるなりして確認してから作業に入りなさいというご指示をいただきました。お寺とも協議いたしまして、当初は横にずらすという話でしたが、やはり元のまま動かさずに直すことに決まりましたので修理に入りました。</p> <p>修繕前の写真の右側に映っております大イチョウの根が原因となり、</p>

	<p>基壇を動かしてしまっているということでした。大イチョウから離さなければ根本的な解決にはならないのですが、今回は現状の位置を保ったままの修復ということになります</p> <p>作業の内容としましては、墓石を動かす前に詳細な写真撮影や配置図を作成し、墓石や石柱を外して敷石を動かしました。敷石の下の土については、今回一切掘削を行うことなく、後々、令和4年度に手を加えたということが後世にわかるよう、白い山砂を用いた盛土をし、レベル調整をしてから元のように石を組み直しています。土圧のかかる基壇の石積み部分については、鉄筋で養生をしながら組み直しを行っています。</p> <p>また、総事業費 1,003,200 円の工事となりました。その半分にあたる 50 万円が市補助金として出ています。事業主体は宗教法人勝隆寺、施工者は木更津市の石材店です。作業については、令和4年12月12日から令和5年1月20日にかけて実施しました。</p> <p>先ほど高梨先生からもお話がありましたが、一段高くなったということについては、石を外した時に墓石の下から古いモルタルが出てきてしまったということから、指定になった昭和48年以前に大改修が行われていたということが明らかとなりました。9頁の上段の写真では土が5センチほど堆積していますが、これを除去したところ下の敷石が綺麗に出てきたということです。この石も今回の工事で一旦外すことにはなりましたが、一枚ずつ丁寧に外していく際、その敷石の下からもモルタルが出てくることを確認しています。史跡指定前にこの面までは確実に修復工事が行われていたことを示す形跡が確認できましたので、今回はこの面から上のみで工事することに徹底しています。</p> <p>石を外す際には、杉山先生、小澤委員にも現地でご覧いただき、両先生方のご指示をいただきながら、下を触らずに盛土をする形で工事したら良いのではないかとのご意見をいただきましたので、山砂を用いて修復作業を実施いたしました。高梨先生がお話された、敷石の件ですが、今回の施工に伴い、新しい石を運び入れたということではございません。表土が厚く堆積していたために普段見えなかったもので、もとの石を敷設してこういう形になったということでご理解いただければと思います。</p>
杉山会長	はい。イチョウの木は今後大丈夫でしょうか。
桐村課長補佐	施工業者によりますと、基壇の石の取外し中に目についた大きな根は

	<p>痛めているということです。イチョウの木は痛めた箇所は死んでしまうということでした。</p>
杉山会長	<p>イチョウの木は残したいということだったので仕方ないですね。</p>
桐村課長補佐	<p>お寺の言い伝えでは、イチョウの木の根元に内藤家長が埋められているということなので、なるべく残したいという意向でした。</p>
筑紫委員	<p>余談ですが、今家康が大河ドラマでやっていますから、関ヶ原のあたりで内藤家長を取り上げられたとすれば、来る人は多いんじゃないでしょうかね。最後に紀行、史跡巡りなんかに出たりすると人が来ますよね。</p>
笹生委員	<p>最後は伏見城でしたか。</p>
小澤委員	<p>今までの大河で（内藤家長は）あまり見たことがないですね。</p>
筑紫委員	<p>そうですね、脚本家がどこまでやるかですね。</p>
杉山会長	<p>佐貫の内藤と大多喜の本多は、里見抑えで置いていますからね。里見がよほど怖かったということだと思います。</p> <p>ではもう1点、報告（2）鋸山日本遺産「候補地域」の事業について、事務局説明をお願いします。</p>
金木主任主事	<p>それでは報告（2）鋸山日本遺産「候補地域」の事業についてご説明いたします。12頁をご覧ください。</p> <p>こちら事業の一覧となっております。昨年度実施した事業は全12事業でございます。令和3年度にも7事業実施しておりますが、令和4年度は5つ新規で事業を増やしまして、12事業としております。この中で新規の事業が、4番の石工武田石翁調査事業、5番の洋上から巡る日本遺産「候補地域」紀行実施事業、13頁の10番の鋸山の高付加価値検証事業、11番の鋸山シンポジウム開催事業、12番の域内小中学校での普及啓発活動を新規事業として行っています。</p> <p>主な内容としては、一覧表に記載させていただき、14頁から18頁まで、事業を行った様子の写真も入れております。事業内容について説明</p>

させていただきます。

1 番の観光活性・長期安定化検討事業につきましては、ワークショップを開催しております。鋸南町の中央公民館で実施し、金谷地区・元名地区で問題となっております駐車場不足、トイレ不足、交通往来活性化の3つをテーマとしてワークショップを開催し、どのように解決していくか、ということについて話し合いを行いました。

2 番の鋸山周辺来訪者、嗜好などの地域資源基礎調査事業につきましては、令和3年度には観光客の実態調査を実施しておりますが、4年度には事業者の実態調査という形で需要に対しての供給側の調査という形でアンケートとヒアリングを実施しました。14頁に掲載していますものが、実際に事業者からのアンケートの一部を抜粋したものになります。

3 番の鋸山石切場遺構・日本寺千五百羅漢調査事業ですが、石切り場の調査を新規で実施し、地形測量図に石切り場の分布などをおとしています。また、千五百羅漢石造群につきましても詳細調査を実施し、総数調査の結果、1,165体の石像が残っていることが確認されました。

4 番の石工武田石翁調査事業につきましては、安房地区の寺社を中心に武田石翁が作成したとされる43体の石造物についての調査を行いました。令和5年度も引き続き、個人所蔵の資料について調査を実施する予定です。

5 番の洋上から巡る日本遺産「候補地域」紀行実施事業です。こちらは、昨年度に遊覧クルーズのツアーとして実施しております。9月10日・11日にショートコースとして鋸南町沖を、10月2日にはロングコースとして東京湾～羽田空港付近から横浜港をまわって房州石を用いた建造物を見るツアーを実施しています。乗船者へのアンケートも実施しています。

6 番の有償ガイド育成事業です。実際に鋸山で有償ガイドを実施する人々の育成を行いました。24名の方がガイド候補生として研修過程を終了しております。

7 番の体験プログラム構築事業につきましては、版画刷りの体験教室を行えるよう、体験版画の刷りの講師の養成講座を実施しています。3月4日には、その方々を講師として体験会も開催しています。今年度も引き続き実施予定です。

8 番の鋸山活用環境整備事業です。町中の案内板整備事業となり、鋸南町に大看板、富津市と鋸南町に小看板を8基設置しています。

9 番の鋸山採石遺構・登山道及び日本寺測量事業です。令和3年度に

	<p>鋸山のレーザー測量と現地測量を行い、地形測量図、等高線図、登山道のルート図等を作成しています。その図面を組み合わせ、等高線の中に登山道を入れ込んだ詳細な地形測量図を作成いたしました。</p> <p>10 番の鋸山の高付加価値検証事業です。試験的に鋸山の車力道の入口、地獄のぞき、ラピュタの壁の3か所にARの案内板を設置しました。QRコードを読み込み画像や動画を映し出されるようになるものを設置しています。また、日本寺の協力をいただき、日本寺管理所にクレジット決済可能な端末を導入しました。電子媒体を活用したものを実施し、鋸山におけるキャッシュレスの需要等を検証しています。</p> <p>11 番の鋸山シンポジウム開催事業です。2月19日に鋸南町立中央公民館にて開催し、鋸南町歴史民俗資料館館長の笹生浩樹氏、木更津氏郷土博物館金のすずの稲木章宏氏の2名を講師として招き、講演をしていただきました。また、鋸山活用のためのパネルディスカッションを実施いたしました。悪天候ながら103名の参加があり、鋸山の調査成果の報告と今後の活用についてのディスカッションが行われました。</p> <p>最後に12番の域内小中学校での普及啓発活動です。11月から12月にかけて、富津市と鋸南町の小中学校10校で、1時間程度の「鋸山の教室」という形で鋸山についての普及啓発授業を行いました。受講された生徒・児童数は延べ430人となりアンケートも実施しております。これにより、実際に鋸山について小中学生が興味関心を抱くことに繋がっています。今年度は小中学校の方から、鋸山に限らずですが、歴史教室という形で授業をやっていただきたいという問い合わせをいただいています。大貫小学校、吉野小学校の2校で校外学習の中でガイドをして欲しいという依頼を受け実施もしております。</p> <p>以上、12の事業について説明を終了いたします。</p>
杉山会長	委員の先生方、何かありますでしょうか。
高梨委員	<p>はい。今ご説明いただいたとおりではありますが、鋸山と言いますと、富津市側の北側の斜面、鋸南町側の南の斜面が頭に浮かびますが、北側には石切り場、南側にはお寺や千五百羅漢像があります。今回の事業を通しまして、2点気が付きました。17頁の地形図、航空レーザー測量ですが3次元の地形測量で詳しく地形を知ることができます。特に現在は木が大きくなってよく見えない所も、レーザー測量を通すと鮮明に見えます。この図の中でも等高線が混んでいるあたりは、崖、垂直に近いも</p>

	<p>のは石切り場跡の遺構ではないかと、埋もれてしまっている遺構も知ることができ、今後の研究が深まっていくと思います。</p> <p>これは画期的な取り組みと思いますが東京湾フェリーが船を出し、海上から鋸山を見るという、今までは北と南から見るという景観が多かったですが、西側から見ると山の形も異なり、はっきりとした記憶ではありませんが、神奈川の方からは丸山と呼ばれていた時代もあるということをおもひ出しました。別の視点から見ることができ、鋸山から清澄へ繋がる丘陵地帯の地殻変動も想像していけるのではと思います。参加していただいた皆様からも好評であったと聞いています。日本遺産の認定へ向けて、さらに盛り上がってくればよいなと思っています。</p>
杉山会長	<p>ありがとうございました。他の先生方はどうでしょうか。</p>
高橋委員	<p>はい。この報告ですが目的等はどこにも書かれていませんね。タイトルもおかしいと思います。鋸山日本遺産「候補地域」ということで、本来であったら何の目的で実施したのか、事業の報告だけであればいいのではないのでしょうか。このような目的があって実施しました、ということが一文なりとも無いので、不親切な資料と思います。</p> <p>報告とあるので結果について、進捗状況とはありますが、もう終わっているものもあるので、例えば、人数が集まるものであれば何人集まりました、それを評価するところまでいかないと報告にはならないと思います。評価が終わったら、今後どうするか、ということを目安なり何かを明示しておかないと、ただやりましたというだけでは、きちんとした目的と方向性をもって実施しなければいけないと思います。</p>
杉山会長	<p>ご意見は色々あるかと思いますが、日本遺産にしたいという目的が一番にあって、その活用の方法を見るものであったと思います。この委員会とすれば、ごくその一部分が関係してくることになると思いますし、特に石切り場の遺跡としての在り方が問題になってくると思います。全般的には日本遺産の登録へ向けてということだと思います。色々な事業を実施して、総合的な見方が今後の文化財にも要求されているので、ある意味こういうやり方をさっき出てきた内裏塚古墳群についてもどうしたら良いか、ということになると思います。</p>
笹生委員	<p>少しよろしいでしょうか。高橋委員からもあったように狙いというも</p>

	<p>のが明確にならないと事業としては問題かなと思っています。</p> <p>杉山会長からもお話がありましたが、文化財保護法が改正になって、県の保護大綱が作られ、市町村でもそれに合わせて作成する。富津市では今後どのように文化財を活用していくのか、北の方には古墳があって、南には今後拠点として鋸山があって、そのほか、金谷城という山城もあって造海城もあって、上後城もある。古墳と城と近世の石切り場というものが富津では大きな柱になってくるかなと思います。その辺をトータルでみた保護大綱になるようなものを、今後、審議会の中で考えていく必要があるのではと思います。市の職員の方々も手一杯の様子が見えていますので、審議会の中でも議論することをやってもいいのではないかと思います。古墳とお城と石切りの町のような形で売り出しもできるのではと思いますので、今後審議会も含めて議論ができればと思います。よろしくをお願いします。</p>
杉山会長	<p>ありがとうございます。この委員会とするならば、石切り場あるいは切り出した先の問題もありますが、私個人で聞いているところでは、水に強い石の所もあり、火に強い石の所もあるし、同じ金谷石でも場所によって使い方が違うということも聞いています。そういう点も文化継承だと思って、この委員会でも気にしてもらえればと思います。</p> <p>頼朝がどこを歩いたのかとか、鋸山は馬だけ筏で廻したと言っているのですから、その辺をどう見ていくかも気になっています。伝承の上からも明鐘の先、釣鐘が入っているという日本寺の伝承ですけれども、石田村から犬を追い払ったら明鐘の鼻へ行ったというのもありますし、一応報告事項ですのでご了解いただきたいと思いますがよろしいでしょうか。</p>
小澤委員	<p>16 頁の鋸山のシンボルマークですが、これは何を表しているのですか。</p>
金木主任主事	<p>デザインのコンセプト、色につきましてはグレーは鋸山の石をイメージした色合い、緑がかったブルーは空や海をイメージしたもの、四角形の中の三角は鋸山の鋸をイメージしたものです。このマークは基本は単体ですが、横に繋げることでノコギリのような形になるようなアレンジも可能なデザインになっています。</p>

岡根教育長	小学生、中学生に選ばれたものになります。
杉山会長	<p>それではよろしいでしょうか。今回は事業計画がありましたので案を消してください。第2回の文化財審議会の予定は2月頃ということですのでよろしくお願いします。</p> <p>委員の先生方、その他何かありますでしょうか。</p> <p>ないようですので、これで議長の職は降ろさせていただきます。</p> <p>事務局にお返しします。</p>
樋口生涯学習課長	<p>杉山会長、ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様には長時間にわたり御審議いただき、誠にありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、令和5年度 第1回 富津市文化財審議会を閉会いたします。</p> <p>(閉会 15時45分)</p>